

令和3年10月28日

第八管区海上保安本部長冒頭挨拶

皆さんこんにちは。

本日も、ご多忙中にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

さて、先月の記者懇談会で紹介しました「海図150周年と舞鶴鎮守府開庁120年の特別企画展」につき、多くの報道機関に取り上げて頂き、また、オープニングにあたり足をお運び頂き、誠にありがとうございました。

また、今月の30日からは「灯台153周年記念」として赤レンガ博物館にて企画展が開催されますので、皆様のお時間と、紙面の隙間、あるいは放送の隙間があれば、是非取り上げて頂ければ幸いです。

ちなみに、私も30日に見学する予定であります。幸い、30日31日は赤れんが博物館入館無料デイとのことですので、是非この機会をお見逃しなく、見学されることをお勧めします。

本日の本部からの発表事項は、3点を紹介させていただきます。

- 一点目が、有資格者を対象とした海上保安官募集について
- 二点目が、11月1日に実施予定の大型旅客船事故対応訓練について
- 三点目が、11月25日と26日に実施予定の潜水研修候補者の選考会について

の3点です。

1点目の

有資格者を対象とした海上保安官募集についてですが、ほとんどの海上保安官は海上保安学校や海上保安大学校に入学した後に船舶や航空機の運航と整備に必要な免許を取得します。

一方、商船の学校などで、船舶などの免許を取得し、民間会社などで活躍されている方が多数おります。

今回は、このような免許を有している方を、即戦力として活用すべく、募集するものです。

採用された方は、門司にある海上保安学校門司分校で研修を受け、現場に配属されます。八管区においても、事務所や船艇、あるいは航空基地にて、多くの方が活躍されています。

2点目の

11月1日に実施予定の大型旅客船事故対応訓練についてですが、新日本海フェリー様のご協力を得て、フェリー「あかしあ」で多数の負傷者が発生したという想定で、消防など関係機関と連携して、トリアージ、負傷者の搬送などの訓練を行うものです。

客船には多くの乗客がおり、ひとたび事故が起きれば、多くの負傷者が発生します。

この場合、一度に全ての負傷者を病院へ搬送することは不可能ですので、船内でトリアージを行い、優先順位をつけたうえで、重傷者から順に、一刻も早く、船、ヘリなどを使って医療機関へ運びこととなります。

今回はこれらを想定して訓練するものです。

3点目の

11月25日と26日に実施予定の潜水研修候補者の選考会についてですが、当庁の潜水士は、映画やテレビドラマで人気を博した「海猿」と言われ、特に若い職員は潜水士になりたく入庁される方が多いです。

潜水士を目指す職員は、余暇を利用して、いまも船内であるいはスポーツジムなどでトレーニングに励み、年1回しかない今回の選考会に挑むものです。

当日、私も視察を行う予定ですが、挑戦者全員が全力を出し切れることを祈るばかりです。

さて、最近の話題について2点、お話させていただきます。

1点目は、先ほど潜水士選考会のご紹介をしましたが、当庁では体制強化に伴い人材募集に力を入れております。かつては「海猿」効果で多くの方が当庁を希望されておりましたが、最近ではその効果も年々減少しております。

しかしながら、来年当初からは再び潜水士にスポットライトを当てたTBSドラマ「DCU」が始まり、これらの作品を通じて当庁への興味が湧き、そして志望される方が増えることを心底期待するばかりです。

2点目は、去る19日にコリン・パウエル元アメリカ国務長官がなくなったというニュースが配信されました。イラクへの攻撃の正当性を主張するために、パウエル氏が国連安保理で炭そ菌と称する白い粉の入った小さな瓶を手に持ち、皆に見せながら、イラクはこの大量破壊兵器を使用するために作っているからけしからんと言っている姿を、当時クウェートでテレビを通じてみたこと、そして、イラクからの攻撃に備え、邦人退避の支援や大使館での籠城の準備などに奔走し

たことが思い出されました。氏のご冥福をお祈りいたしますとともに、先のアフガニスタンからの米軍の撤退といい、一つの時代の区切りがついた感覚を覚えた次第です。